

会報

やまばと

(第68号)



発行

社会福祉法人 浄泉会
秦野市渋沢2620-2
TEL 0463 (87) 1188
発行人 西田精吾

E-MAIL

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

URL

http://yamabato.org/

業務執行理事挨拶

業務執行理事 藤澤 学

浄泉会も平成三十年度がスタートしました。

今回は、平成三十年度当初の運営状況を報告します。

まず人事組織ですが、生活支援課に課長補佐より課長への承認人事及び係長職を設置しました。

課長昇任は、サービス管理責任者を課長に発令し、個別支援計画の作成、サービス提供プロセスの進行管理と共にサービス提供職員への技術指導と助言及び喫緊の課題

である利用者の高齢化への対応をおこなうためであります。次に係長の設置は、課長を個別支援計画の策定及びサービス提供の質の担保及び補佐するとともに、併せて

管理業務分掌を整理し業務執行の効率化を図るためのものです。

さらに、生活支援課、日中支援課（通所センター）及び地域支援課（グループホーム）への人事異動

を組織活性化のための異動をおこなないました。

また、職員雇用については、改正育児・介護休業法に伴う改正。

「保育所に入れない場合など、二歳まで育児休業が取得可能に」

「対象家族一人につき通算九十三日まで、三回を上限として、介護休業を分割して取得可能」等の改正。

次に、「改正労働契約法」（平成二十五年四月一日施行）に伴う無期転換ルールによる規程改正により、有期労働職員が五年間自動更新による無期転換発生権が生ずるための規程の整備をおこなないました。これに伴い、無期転換発生権を行使した職員は、原則七十五歳までの期間としました。

また、三月十九日理事会において平成三十年度資金収支予算が承認されました。事業活動収入五億千九百五十八万六千二百六十五円、

収支差額三千六百九十一万二千八百九十三円及び当期資金収支差額二千六百八十四万三千三百九十三円を計上しました。

併せて、平成二十九年度最終補正予算は、事業活動収入六億二千四百四十三万三千二百三十二円、

収支差額として七千三百四十八万二千四百七十円、当期資金収支差額は、四千九百四十万四千九百六十六円を計上しました。これを受けて、

五月三十一日理事会が開催され、平成二十九年度の事業報告、決算報告及びそれに伴う社会福祉充実計画の策定の有無等を審議する予定です。

なお、制度改革前の諮問機関から、議決機関となった評議員会は、六月十五日を予定しています。



課長挨拶
生活支援課課長 只埜 美奈子

四月より課長という役職を務めることになりました。今までは課長を補佐するという立場でしたが、実際は課長という存在が不在で、私自身も現場に入ることが多く、課長を補佐するという立場でありながら、実際は上司の方々に頼ってきてしまった気がしています。

課長という重圧に押しつぶされそうな毎日ですが、課長補佐として三年ほど自分のペースで行なわせていただいた中で、皆で考え、意見を交換しながら一つ一つ実行してきたことを良い経験とさせていただき、今後も私のスタイルを保ちながら前向きに取り組んでいきたいと思っています。

利用者様の日々の生活が楽しく、彩豊かに、そしてアットホームな場になるように、言葉のある方もない方もそれぞれの思いを感じ取り、受け止めて、他職員にも伝えていけるやまばと学園の一職員でありたいと思っています。

今後ともよろしく
お願いいたします。



係長主任挨拶
生活支援課係長兼主任 渡辺 大志

三年前までは二階で主任業務・ここ三年では三階主任をさせていただき、四月より男性棟の係長を務めることになりました。

これからも主任・チーフ・支援員皆で協力して、意思決定支援をしていくように努めてまいります。今後共宜しくお願いいたします。

係長挨拶
生活支援課係長 佐藤 恵

四月より係長に就任致しました。入所に異動し、まだ一年ではあります。この一年経験したこと、今まで経験したことを活かし、利用者がより良い生活が送れるように、質の良いサービスが提供できるように取り組みたいと思います。

それには、チーム一丸となり協力し、はじめて実現するものと考えております。入所支援経験が浅く今の私では力が及ばない部分もあるかと思いますが、周囲の皆様の言葉、支援員の言葉、利用者の方々の言葉を聞き入れ、思いを汲み取り、実現に向け努力していきます。今後とも宜しくお願い致します。

平成二十九年度 新年会
生活支援課 北村 竜一

今年初めの大きな学園行事として、一月十二日に新年会を行ないました。

新年会担当の打合せでは当初より、利用者様に、出来るだけ例年よりもお正月気分を感じてもらえるような新年会をめざして進めて参りました。

そこで今回は、新年に各利用者様に習字をしてもらいそれぞれ好きな事を書いて頂きその習字を新年会会場に掲示しました。

また、もう一つの特色として、好きなケーキを事前に数種類のの中から個々に選んで頂き、当日そのケーキを食べる事が出来ました。



食事の時間も少し長めにとりました。新年会会場でもたくさんの方の歌やマジックショーで楽しみました。



うぐいす班
生活支援課チーフ 峰尾 俊

この度、うぐいす班チーフになりました。た、峰尾です。

うぐいす班の作業は、ドライブから始まり、散歩やビーズ板、スキルギョラリーの製作等を主に取り組んでいます。今後、新たな製作作業を取り入れようと検討しています。



利用者様が製作した作品は、バザーなどで販売し、作業収入となります。

作業収入は、利用者様へ作業収入還元金となり、お給料という形で利用者様の手に渡ります。

毎日作業を頑張る、売り上げが増えれば、お小遣いが増え、外出へ行つて美味しい物を食べたり、好きなものを買ったりすることが出来るようになればと思っています。

これからも、うぐいす班の利用者様には、毎日の作業を頑張ってもらえるよう、新事にも挑戦しつつ、多くの方の期待に応えることが出来るよううぐいす班職員一同頑張っていきます。

利用者さんと外出
生活支援課 大西 由里子

初めて利用者さんの担当を持たせて頂いた時、もつと違う表情を見てみたいと思い先輩に相談した所、夕食外出の企画の提案を頂きました。早速十名のグループ外出の企画に参加させてもらい、勉強をさせていただき、お寿司屋さんへ夕食外出に行き当日メニューを見て注文したのですが、選んでいる時の笑顔やワクワクした表情、食べている時の嬉しそうな顔がとても素敵で楽しい時間を過ごせました。それからは、毎月外出を企画させてもらい、楽しいひと時を過ごさせてもらっています。



今後も楽しんでもらえる様に頑張りたいと思います。



地域支援課挨拶
地域生活支援課 福田 桂助

田になみなみと水が張られ、いよいよ田植えの季節となりました。日頃から皆様には大変お世話になっております福田です。この春、平成三十年四月よりやまばと学園の入所三階からグループホームのやまばとハウスに人事異動をいたしました。学園に入職してから約二年半、新しい職場環境での再スタートとなりました。初めは不慣れなことが多々あるかとは思いますが、一生懸命、利用者の支援に情熱を注いで行きたいと思っておりますので、何卒、宜しく御願致します。現在、異動してから二ヶ月が経過しようとしています。グループホームに在籍している利用者様は、比較的自立性が高く、個性豊かです。とても素敵な方々だと感じています。ようやく、コミュニケーションが取れるようになりつつありますが、今後は、充実した生活を送れるように、ご本人のニーズを引き出せるように、その為に必要な支援をしっかりと考えていきたいと思えます。話は変わりますが、昨年より学

園が活用している農園で茄子やスイカなどの野菜を栽培しています。昨年はスイカが豊作で、甘く実った大きなスイカを利用者さんと一緒に収穫しました。収穫後は、丁度良く冷えたスイカを一口サイズに切って試食しました。「美味しかった」「採るのが楽しかった」と利用者さんから嬉しいお言葉を聞くことが出来ました。今年度も五月初旬に苗を植え付けし、すくすくと成長しています。八月頃には甘くて美味しいスイカができているだろうと思うと楽しみで仕方がありません。

新人職員紹介
生活支援課 小島 颯人

この度、四月より入職致しました小島颯人と申します。入職のきっかけは元々保育園の先生を目指して頑張っていたのですが専門学校での担任の先生にやまばと学園を紹介していただく見学に来たのが最初のきっかけでした。その後1日実習を体験させていただき、利用者様との関わりにやりがいを感じて、入職を決意致しました。福祉関係の知識や技術はまだ浅いですが、よろしく御願致します。

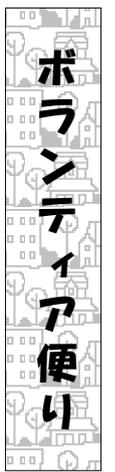
新しい仲間
通所支援課 課長 工藤 淳

四月より通所センターに新しい仲間が増えました。今年の3月に養護学校を卒業されたばかりの古郡優太様です。さて、皆さん、ゴードン・ドナルドって何の事か分るでしょうか？実は、機関車トーマスの仲間の名前です。優太様は最近、通所センターにも慣れ、お昼休みに自宅より沢山のトーマスの仲間達（玩具）を引連れ職員に紹介してくださります。

活動の中では、毎日の散策が楽しみな様子で積極的に参加されています。また、室内作業では受注作業にも参加されています。絵を描くのも好きでとても上手な絵を描いてくださいます。今回はその一部を紹介させていただきます。優太さん、これから楽しい通所生活を共に送りましょう！



通所の活動中に描きました♪



平成三十年一月～五月
貴重なお時間をさいて、行事等
ボランティアにお越しいただきま
した。

○散歩ボランティア
秦野カトリック教会様

○通所センター支援 関ひろみ様
○新年会ボランティア
花ことば歌謡教室 4名様

YAMA山口 博様

笠原 幸一様 笠原 範子様

飯塚フミ子様 鈴木 和子様

鈴木久美子様 (順不同)



ご紹介をいただいた方々のご紹介
平成三十年一月～五月

貴重な浄財をご寄附いただきま
した。誠に有難うございました。

○やまばと学園家族会様

○やまばと学園後援会様

○花ことば歌謡教室様

○西湘地域労働者福祉協議会様

○青木 克悦様 ○富田 郁夫様

○和田 義昭様 ○柳川 利江様

○東間 紀子様 (順不同)



平成三十年一月～五月
◎入職者

生活支援課 小島 颯人

給食係 中野 博

通所支援課 小川 勝保

地域生活支援課 内田 光

(四月 一日付)

◎復職

給食係 川又 望

(五月十六日付)

◎休職者

地域生活支援課 松井 美希

(四月 九日付)

◎退職者

給食係 角田 照美

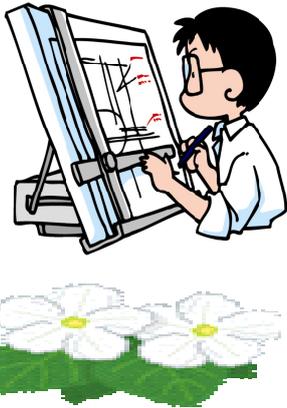
通所支援課 植原 晶子

(三月三十一日付)

給食係 北川 静香

地域生活支援課 羽立 正人

(四月三十日付)



梅雨の時期となり、畑の野菜や
草花も、恵みの雨に潤う季節とな
りました。寒暖の差もあり、体調
管理に注意が必要な日々ではあり
ますが、皆様如何お過ごしでしょ
うか。

やまばと学園の周りには自然が
多く、山の木々や野に咲く花々、
そして心地良い鳥のさえずりに、
心癒される環境です。「やまばと
農園のその後・・・」もですが、
四季を感じながらの学園での生活
の様子を、次回もお伝えしていけ
たらと思っています。「会報やま

浄泉会やまばと学園後援会の会員・賛助会員を募集しています

社会福祉法人浄泉会 やまばと学園後援会

- 法人設立の趣旨をより効果的に実現する為に、社会福祉諸活動を支援しようとするものです。
- 障害者の皆様が快適で安心して安全で楽しくアットホームで満足できる生活を送れるよう支援しています。

法人会員	年額1口	20,000円
個人会員	年額1口	10,000円
賛助会員	年額1口	3,000円

会員には会報「やまばと」が郵送されます。

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担)
どこの郵便局でも00220-5-14491です。
口座名は 浄泉会やまばと学園後援会
新しく会員になられる方はご住所を電話等
でお知らせ頂こう願致します。

やまばと学園内 後援会係担当
〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢 2620-2
Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

やまばと学園

リニューアルしました!
ホームページ
<http://yamabato.org/>

メールアドレス
yamabato@galaxy.ocn.ne.jp



ばと」の編集メンバーが新しくな
りました。今年度もどうぞ宜しく
お願い致します。
(山崎・水島・山口・菊澤)